

団体名 西成区障害者保護者会「SUNO」

取り組み名 西成区障害児保護者会『SUNO』ふれあい旅行

事業報告

2013年3月9日、10日の1泊2日で、親7人、障害児7人きょうだい児4人、スタッフ11人の総勢29名で三重県及び滋賀県へ一泊旅行に行きまして。

この親子キャンプは親の会発足当初から、毎年続いている企画であり、今回は財団からの助成をいただけたので、より充実した内容になったことを報告いたします。

1日目は西成障がい者会館に集合した後、貸切バスで、三重県伊賀市にある、もくもくファームを目指しました。途中バイキング形式での昼食を取り、お腹を満足させてから、目的地へ向かいました。

ここでは「自然・農業・手づくり」をテーマにしており、様々なイベントや体験が出来るのです。

普段親だけで子どもを連れてくると、障害がある故、親は自分たちが楽しむ事は勿論できず、

『迷子にさせないか。』『迷惑をかけないか。』と心配になり、このような場所は敬遠しがちになりますが、この親子キャンプでは、子どもにマンツーマンでスタッフがついてくれ、基本的に子どもがスタッフと一緒に行動してくれることで、親は余裕が出来て、とてもリラックスでき、親たちも一緒に子どもと楽しめる事が出来ました。

初めて牛の乳搾り体験をした子どもが、牛の大きさに驚き、乳搾りの難しさを体験した事は、とても良い経験になったと参加者が喜んでいました。幼児の兄弟児と一緒に参加した家族は、ミニブタのショーを見てとても楽しく過ごされていました。

親だけではなかなか参加が難しい工場見学も、スタッフさんが同行してくれた為に、子どもも

参加する事ができて、出来たてのビールや麦茶を味わう事ができて、とても楽しい経験をしました。

また、この旅行では兄弟児の参加も認めているため、普段は障害児に親の手を取られて、なかなか構ってもらいにくい、兄弟児も十分に楽しんでもらったと思います。年上の兄弟児は、積極的にボランティアの役割を担い、小さい兄弟児のお世話をしたり、該当児と同行する場面では、いつも以上に一緒に楽しく活動することができました。

この旅行では、3つの成果を出す事が出来ました。1つ目は普段できない体験を子ども達にさせる事。(1日目はもくもくファームで、2日目はアグリーパーク竜王での数々の

農業・酪農体験、動物ふれあい等） 2つ目は親のリラクゼーション（親子違う宿泊場所の為、親はゆっくりと他の親とのコミュニケーションと取れ、お風呂や食事を楽しむ事ができました。） 最後に兄弟児への支援。（ディスタッフが障害児にマンツーマンで付き添ってくれるため、親は兄弟児を優先して行動することができる。）

子ども担当のスタッフはこの旅行のみで召集したボランティアではなく、普段子ども達に深くかかわってくれているスタッフなので、親は安心して子どもを預ける事ができました。それ故、この親子キャンプは、子ども達も親も楽しみにできる唯一無二の企画なのです。親子キャンプに参加したいと言うのが一番の理由で、親の会 SUNO に入会する家族も多い為、継続した支援をお願いしたいと思っています。